



前号に引き続き、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)から、「主体的に学習に取り組む態度」を**管理記録カード**(技術分野)や**観察・学習カード**(保健体育)で評価する例の一部を抜粋しています。



☞ 単元計画や評価規準等の詳細はこちらで御確認ください。
小中学校ともに、全教科、こちらからダウンロードできます。

技術分野

【題材名】 環境に優しい野菜づくりにチャレンジ! (P61)

【評価方法】 管理記録カード



あなたが課題の解決を目指して、育成の結果がよりよいものになるよう、改善・修正しようと思っ**て取り組んだことを思い出してみましよう。**

最適な作業手順を考えようと
する態度を評価しています。

〈生徒1〉なるべく電気を使わずに育てようと日光が当たりやすい場所に移動させて、LED 照明を使う時間を短くしようとしました。また、それだけでは成長が思わしくないので、資料で調べて、養液の成分を変更してみました。

【「十分満足できる」
状況(A)と判断した例】

〈生徒2〉なるべく電気を使わずに育てようと考えていましたが、始めは曇りの日が多くてLED 照明を長く点灯させていました。しかし、途中で目標を達成できないかもしれないと**考えて、日光が当たりやすい場所に移動させて、LED 照明を使う時間を短くしようと頑張りました。**

【「おおむね満足できる」
状況(B)と判断した例】

これまでの学びについて振り返らせたり、技能の習得状況等の変化を確認させたりしながら、内容のまとまりの全体を通して感じたことをまとめさせ、**自己調整を図ってきたか**を読み取り、評価します。



保健体育

【単元名】 ダンス(P76)

【評価方法】 観察・学習カード


第3学年ダンスにおける「学びに向かう力、人間性等」に示された「共生」に重点を置いて、観察や学習カードをいかして、指導と評価を行っています。

【2時間目】: 評価規準について観察評価する機会とする。

特に「努力を要する」状況(C)を優先して見出すようにする。

【9時間目】: 体力や技能、性別等の違いを踏まえて、他者の考えを受け入れ、グループの生徒が実現可能な動きを選択したり修正したりすることに関する記述を評価する。



実現状況	判断の目安	想定される様相
「十分満足できる」状況(A) 	◆ 共生 の意義を踏まえ、互いの違いを生かそうとする。	取り入れようとする、生かそうとする、定着している
	◆ 共生 の意義を踏まえ、互いの違いに配慮しようとする。	気遣おうとする、尊重しようとする、建設的に考えようとする
「おおむね満足できる」状況(B)	◆ 共生 の意義を理解し、互いの違いを受け入れようとする。	知識を規範に行動する、思いを統制する、受け入れる
「努力を要する」状況(C)	◆ 共生 の意義やとるべき行動は理解しているが、理解に基づく行動が確認されない。	逃避する、あきらめる、敬遠する
	◆ 共生 への意義やとるべき行動への理解が不十分で、受け入れようとする行動が見られない。	
	◆ 共生 への理解不足が見られ、他者の意欲を低下させる影響を及ぼしている。	嫌悪する、否定する、拒否する